## 法政大学出版局◎新刊のご案内

2018年9月10日

① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。 希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。

委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させて頂きますのでご了承下さい。 ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。

- (3)
- 小局ホームページより、**「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。**併せてご利用下さい。



帖合・番線

部数

法政大学出版局 **2018年10月下旬配本** 定価6912円(本体6400円+税)

A5判上製·550頁

野沢協著

売野にて 野沢協評論集成

ISBN978-4-588-15095-1 C1010

稀代の碩学は、『ピエール・ベール著作集』に代表される記念碑的な翻訳書や紀要論文のほかにも、数多くの優れ た論考を発表した。新聞記事、絶版となって久しい刊本、若き日の自筆ノートなどから、一般読者の手に届きにくい 重要な作品を選び、遺稿・評論集として一巻に集成。生涯最後の日々を費やして完成させた『愛国者の手紙』(本 邦初訳)、講義ノート「グノーシス派」、卒業論文等を収録。刊行委員による解説付。 【思想史】

☆関連書:没後3年(命日11月18日)を記念して、同時に『夜の果てへ 野澤協全詩集』も刊行。

帖合・番線

部数

法政大学出版局 **2018年10月下旬配本** 定価2700円(本体2500円+税)

A5判上製・320頁

野澤協著

夜の果てへ 野澤協全詩集

ISBN978-4-588-46014-2 C0092

弱冠十六歳の野澤協は、旧制浦和高等学校文芸部の同人誌に詩作品を発表した。八冊の大学ノートに清書され た約一八〇篇の詩は、ミューズに青春を捧げつつ、執拗な自殺志向を克服した記念すべき作品である。 フランス象 徴派や高踏派、ダダやシュルレアリスムを研究し、その手法を吸収した形跡すら見られる珠玉の詩篇には、詩人と しての未来さえ予感させる才能があふれている。 【詩集・文芸】

☆関連書:没後3年(命日11月18日)を記念して、同時に『荒野(あらの)にて 野沢協評論集成』も刊行。

帖合・番線

部数

法政大学出版局 **2018年11月上旬配本** 定価3672円(本体3400円+税) イラン・パペ 著/脇浜 義明 訳

四六判上製・304頁

《サピエンティア 55》

イスラエルに関する十の神話仮)

ISBN978-4-588-60355-6 C1322

パレスチナは民なき土地ではなかったし、ユダヤ人は土地なき民ではなかった。パレスチナは植民地化されたので あって、ユダヤ人がイスラエルを回復したのではない。歴史の歪曲と情報操作によって生み出されてきたイスラエ ルに関する「神話」、すなわち虚偽にまみれた政治的プロパガンダの背景を読み解き、反証をあげて論駁する。イス ラエル人の歴史家である著者のエッセンスを集約する入門書。 【パレスチナ問題】

☆関連書:パペ『パレスチナの民族浄化』、ヘルツル『ユダヤ人国家』(以上、小局刊)ほか。



部数

法政大学出版局 好評発売中! 定価5616円(本体5200円+税)

A5判上製·300頁

賀茂 道子 著

ウォー・ギルト・プログラム GHQ情報教育政策の実像 ISBN978-4-588-32134-4 C3021

占領期に連合国軍総司令部は、戦争の有罪性を日本人に認識させるための政策「ウォー・ギルト・プログラム」を 実施した。のちに江藤淳らはこれを、侵略戦争観を日本国民に植え付けるためのもので、洗脳であるという立場を とった。本書は、膨大な資料に基づいてプログラムで最も重視された点や内容の変遷などを詳細に検証し、従来の 説に異論を唱える意欲作である。 【日本現代史・占領期】

☆関連書:袖井林二郎編『世界史のなかの日本占領』、ハーシー著『増補版 ヒロシマ』(以上、小局刊)ほか。

ご担当者様 氏名:

] 担当ジャンル: [

] TEL:[

】 E-mail: [

1

\*配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。

- \*宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- \*今後、新刊内容のデータ等を e メールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。

〒 102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 Fax. 03-5214-5542 E-mail: sales@h-up.com URL: http://www.h-up.com/